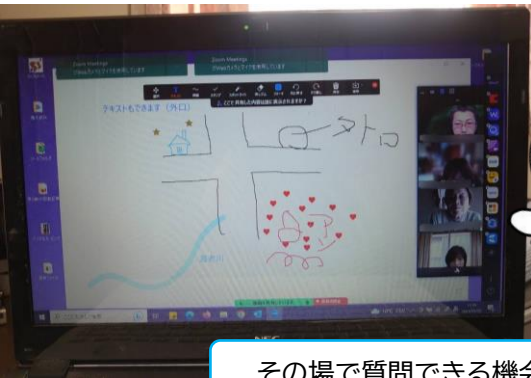




「初めまして」から始めて  
「それってどうやるの?」と  
懇談的に楽しく体験できたね!

## 県サ連 Zoom お試し会

3月5日、県サ連主催で開催された zoom お試し会。この3年で急速に普及し、さまざまなシーンで取り入れられるようになった Zoom。離れていても講演を見ることができたり、イベントに参加することができたりと、便利な Zoom ですが、敷居も高く、「もっと気楽に体験してみたい」との声に、県サ連でやっとお答えすることができました。



今回集まってくくださった方々も、始めは緊張していましたが、マツタリと進むうちに、「え? ああこれかあ!」「わ! できたあ!」と、終始楽しく使い方を試してみることができました。ミュート? ビデオ? 背景変えたい!! 最後には「画面共有」で1つの画面にみんなで落書きい~! 県サ連ならではの楽しい時間は、あっという間でした。ありがとうございました(^~)

その場で質問できる機会なんて、なかなかないものね~。またやりたいね!

## 第42回耳の日まつり in 君津



各方面から乗り入れた貸切バスもズラリ

「きみの未来をつくるまち」をキャッチコピーとした君津市において、3月12日(日)第42回耳の日まつりが開催されました。

式典では石井宏子君津市長を始め、挨拶の冒頭や締めを手話で表現してくださるご来賓が多く、手話言語に対する意識が少しずつ広まっていることを実感しました。

第一部では千葉テレビアナウンサーによる千葉の魅力紹介、第二部ではろう弁護士の若林亮氏特別講演や那須英彰氏の手話語り、三室一夫氏のミニミム聾劇場など、手話三昧の一日でした。



君津市文化ホール



手配されたお弁当は、まだ温かくて♡実行委員さんありがとう!



先行発売された「ちばの地名辞典」、購入希望者が列を作っていたよ!



県サ連会長代理で来賓を務めた事務局長と副会長



会場の外で見つけた可愛いパチコート水仙

## サークル紹介

特集8号  
北総ブロック  
手つなぎの会  
の巻〜♪



## 手つなぎの会

印西市手つなぎの会は、「1人の力では何もできない、1人1人が手をつなぎ合って前進して行こう」という熱い志の思いから、昭和61年、印西市社会福祉協議会主催の手話講習会終了後に立ち上げられました。そんな先輩たちの思いを引き継いで、どんな時でも手を取り合って仲良く、協会・サークル・印西班と協力しながら一緒に活動を続けてきました。



クリスマス会の様子

出張出前講座の様子



ここ3年、新型コロナウイルス感染拡大の影響で度々の自粛生活が続きました。サークルの例会も安定して開くことができず、サークルへの気持も離れていってしまうのではないかと危機を感じた時もありますが、休会中も毎月役員会を開き、グループLINEを作って、LINEがない方にはFAXで情報を配信したりしました。

また、通常例会は出来なくても、「開放日」と称して例会の時間に部屋を開放し、サークル貯蔵の本やDVDを自由に閲覧して自主学習が出来るようにしました。

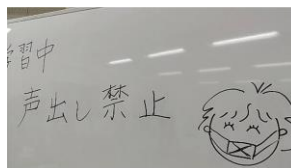
コロナ禍でも、欠かさず毎年恒例の印西市へ障害者福祉向上のための要望書は協会・印西班と共に提出しました。サークル新聞「てつなぎ」も創立以来ずっと作り続けている新聞です。会員へ配布する他に市役所、公民館などの公共施設に置かせていただいています。

やっと例会を再開できた時には、みんながこの日を待ち望んでいたのだと実感しました。顔を合わせて話せる喜び、普通の日常のありがたさを感じました。これからいろいろな事があると思いますが、誰が言ったか、

「楽しくなっちゃサークルでない！」をモットーに、大変なこともみんな楽しく仲良く、力を合わせて乗り越えていきたいと思います。

コロナで会員減少もありましたが、最近は新たな入会者も増えて嬉しいです。「手話を学ぶことで聴覚障害者との交流を図り、情報提供と相互の理解を深め、生活向上のために努める。」手つなぎの会の規約の言葉を実践していきます。見学大歓迎です。アットホームで楽しい手つなぎの会へ遊びにいらして下さい。

<ある日のサークル（協会3人が担当）>  
読み取りが苦手なサークル員のために  
会場に着くと、サークル中は声出し禁止！  
の張り紙が…



同じ内容の話を  
3人のろう者に  
表現してもらいました。



へ～え、それぞれ違うんだ！  
でも…なるほど…分かった！  
サークル員に大好評



サークル新聞『手つなぎ』年10回発行

近年大型商業店舗が建ち並ぶ国道464号線沿い印西市中央駅前地域交流館を拠点に活動しています。最寄りの駅は北総線千葉ニュータウン中央駅。

毎週火曜日の午前10時～12時は主婦層が多く和やかな雰囲気。学習班が交代で内容決め。前半はテーマを決めた全体学習、後半は交流を中心にグループ学習。

第2・第4土曜日の午後3時～5時は年齢層も幅広く、小学生の会員さんや学生さんの見学もあり活気があります。協会が中心となって、YouTubeの動画やパソコンを駆使して学習を進めてくれるのが魅力。サークルの場が協会員・サークル員にとって楽しい交流と情報交換の場であるように全員参加型の例会を目指します。

第5回役員会（3月26日@千葉聴覚障害者センター予定）・学習会について・総会について・次年度について

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久